JOINUS!

2024 Vol.2

EY新日本有限責任監査法人

Building a better working world

ゆるりと語る EY ワーク

EYでの働き方は事務所勤務にとどまらず、シフト勤務や在宅勤務など十人十色。
そんな新しい働き方をEY新日本のメンバーに対談形式で答えてもらいました。
皆さんが気になっていた情報がここにあるはず……！？

往査VS在宅VS事務所割合はどれくらい？

Yabata：普段は往査5:在宅1:事務所4くらいですね。事務所はとてもきれいで快適なので自発的にそこで作業しています。
Tsuji：私は往査5:在宅4:事務所1くらいです。自宅の方が集中できるので在宅勤務が多めですね。
Yabata：監査チームにもよりますが、期末になると往査の割合が少し増えますよね。
Tsuji：そうですね。私のチームでも往査の割合が一気に増えます。Yabataさんが思う事務所勤務の良い点は何ですか。
Yabata：先輩の隣で一緒に作業ができる点ですね。あとは、すぐに質問できるのも良いですね。
Tsuji：いろいろな働き方の選択肢があることはうれしいですね。

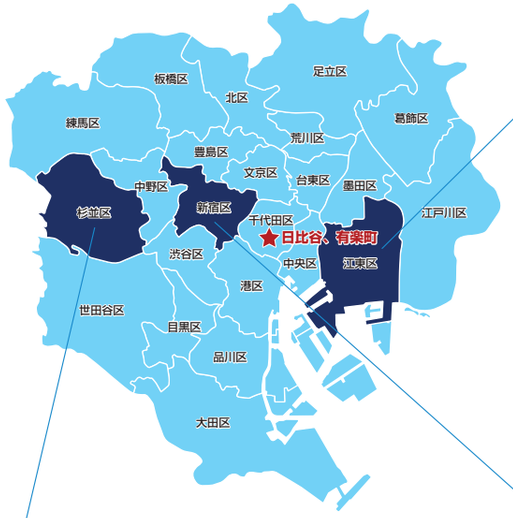
EYフレリモ

Yabata：EY新日本ではEYフレリモという働き方があることを知っていますか？
Tsuji：知っています！　リモートワークを含めたフレキシブルな働き方が導入されているんですよね。
Yabata：私は可能な場合、始業時間を早めることで、一番頭がさえている朝の時間を有意義に活用して、いつもより早く退勤することがあります。
Tsuji：JOINUS!でも10時から活動することがあるので意外と身近な制度ですよね。
Yabata：通院などの用事のために中抜け勤務という制度もありますし、自分にあった働き方を選択できるのは魅力だと思います。
Tsuji：これらの制度は職階に関わらず利用できるのもうれしい点ですね。

一人暮らし情報

Yabata：一人暮らしの家を決める際に何か決め手はありましたか？私は事務所に近い場所が良いなと思っていました。
Tsuji：私は何かと便利な新宿に近い場所にしたので往査先へのアクセスが良いですね。あと、虫が苦手なので高層階を選びました（笑）。
Yabata：それも大事ですよね（笑）。事務所までは距離がありそうですが、通勤時間は長くなっても大丈夫だったのですか。
Tsuji：そうですね。私のチームは在宅勤務が多めなので、事務所までの距離は気にせず好きな場所に住もうと決めていました。意外と事務所に行かなければならない機会はそんなに多くないので往査先との距離で決める方がいいかもしれませんね。
Yabata：次のページにおすすめエリアを紹介しているので、引っ越しを考えている方はぜひ参考にしてみてください！

おすすめエリア



江東区

【家賃】11万円
【広さ】1DK
【決め手】静かな場所で住みやすそうと思ったからです。繁華街もなく全体的に閑静な住宅街で落ち着いた暮らしができます。事務所からの距離も近く、都内の主要駅へのアクセスが良い点も決め手になりました。

スタッフ　N.Shinyaさん

杉並区

【家賃】8.8万円
【広さ】1K
【決め手】家賃が安い・治安が良い・実家からのアクセスが良いの3点で決めました。商店街も多く、程よく落ち着いた街です。事務所までの距離だけではなく往査先へのアクセスの良さも考慮すると良いですよ。皆さんのお部屋探しの参考になればうれしいです。

スタッフ　S.Aokiさん

新宿区

【家賃】9.5万円
【広さ】1K
【決め手】在宅勤務が多いため事務所から40分とやや遠めですが、新宿駅に近い利便性を求めてこのエリアに決めました。新宿区でありながら閑静な住宅街で住みやすいです。比較的安価で、過ごしやすいエリアを選択してみるのも良いと思います。

スタッフ　K.Aritaさん

Point

「これ買って大正解！」先輩の往査&在宅おすすめアイテム

EY新日本に入社したらいよいよ新生活。JOINUS!メンバーにあると便利なおすすめアイテムを聞いてみました！

往査編

▶モバイルモニター
→2画面あると仕事がしやすいです
▶大容量リュック
→リュックなので電車で持ちやすくモニターも入ります
▶自分の好きなお菓子、飲み物
→好きな食べ物があると、頑張れます

在宅編

▶昇降式デスク
→眠くなったら立って仕事ができる優れモノ
▶ホットアイマスクなどリラックスグッズ
→お昼休憩でリラックス
▶パソコンスタンド
→肩が疲れず姿勢改善もできます

新時代の育成法

EY新日本には、将来を担う若手の成長を促すために取り組んでいる独自の育成法があります。その中でも、人気の高い3つの制度を紹介します。入社してから成長する自分の姿をイメージしてみてください。

Audit Staff Academy

早期に主査の役割を担うための育成法

経験共有アカデミーの風景

アサイン前

入社後すぐに現場で監査をすることを不安に思うかもしれませんが、アサイン前にもグループ研修や監査のロールプレイ研修があるのでご安心ください。

- 2月：グループ研修
- 3月上旬：PreOJT研修
- 3月中旬：アサイン開始

2023年の導入後、OJTの一環として、体系的に実施されています。テーマごとに分かれた10分前後の動画で知識やスキルを学習。それを実務に生かし、フィードバックで振り返るという循環サイクルが、私たちの成長を加速させます。
この施策に対しては、「主査を担えるようになるため、取り組むべき業務が明確化された」、「上司のフィードバックや経験共有アカデミー※が、仕事の目的や意義を再確認させてくれた」という声が上がっています。

※ 経験豊富なパートナーから、キャリアや業務経験について聞くことができるイベント

専門スキル認定制度

自分なりの「監査＋α」を見つけられる！

EY新日本にはメンバーの専門性を高めるためにキャリア開発を中長期的に、サポートするための各種認定制度があります。その中でもIFRS認定制度を利用しているチームメンバーからメッセージをいただきました。
「私たちは、単体決算では日本基準を、連結決算ではIFRSを適用する監査に携わっています。認定取得に必要な研修は、IFRSの基礎知識や基準の構造的な理解を深め、監査実務の中でとても役に立っています。IFRSに少しでも興味がある方には、この制度をぜひおすすめしたいです」

左からシニアR.Satakeさん、シニアT.Kogureさん

若手向け海外赴任制度

実際に制度を利用された方にインタビュー

シニアA.Suzukiさん

EY新日本の海外赴任制度には、「JBS※1」と「JDP※2」があります。JBSは、マネージャー以上を対象とする一方、JDPはシニア以上を対象とした若手育成プログラムとなっています。私の場合、日本での海外業務をきっかけに英語力を成長させたいという思いから海外駐在を目指し始めました。JDPを利用してシニアでシンガポールに駐在し、現地で監査業務を経験することができました。

※1 Japan Business Services
※2 Japan Development Program

実際に働く上では、単語や文法だけでなく、英会話力も重要でした。また、制度や組織風土が日本と異なることから、新しい学びや気づきが多かったです。監査のフローが日本と異なっていたり、引継ぎが不十分だったりするなど大変なこともありました。しかし、プライベートではグローバルなつながりが増え、日本に戻ってきた今でも連絡をとっています。海外駐在は単に海外で働けるということだけではなく、人生そのものが豊かになる経験です。ぜひ早い段階から興味を持って、挑戦してほしいです！

シンガポールで友人と過ごす休日の1枚

column

チーム独自の取り組み

メンバーのコミットメントを深めるために、独自の取り組みを実施しているMoritaファミリーに話を聞きました。

Moritaファミリー

私たちのカウンセリングファミリーでは、メンバーの仲を深め、健康を促進するため、毎日の歩数を記録し競い合っています！　半年間で一番歩数の多かった人には、景品も用意されています。この企画を実施することで、職階や年齢、性別問わず、メンバー間でのコミュニケーションが盛んになりました。また、一日の目標歩数を設定しているので、歩こうというモチベーションにもなり、健康的な生活を送ることができています。

新時代のキーパーソン

EY新日本は、付加価値を生み出すさまざまな領域に力を注いでいます。中でも話題の分野に携わる3人にインタビュー。アシュアランスイノベーション本部（AI本部）、CCaSS事業部、FAAS事業部で最前線に立つキーパーソンの言葉に注目です！

AI本部
E.Nedateさん
シニアマネージャー

“テクノロジーの進化が目まぐるしい時代、AIツールを駆使したステークホルダーへの価値提供に会計士の真価が問われます。

最新の監査ツールを開発

監査の効率化・高品質化にツール開発の現場から挑むNedateさん。その業務内容やAI時代の公認会計士像について聞きました。

Q NedateさんはAI本部で具体的にどんなことを行っていますか。

監査とM&Aのコンサルティング業務を経験した後、新しいチャレンジを求めてAI本部に異動しました。現在は、監査ツールの開発現場をまとめるプロダクトマネージャーを務めています。
ツール開発は主に監査現場のニーズが出発点です。例えば、循環取引のリスクにAI（人工知能）で対応できないかというリクエストに応えツールを開発しました。監査現場の要求をいかに拾い上げるか。そして正確にエンジニアに伝えていくか。試行錯誤する中で、AIやプログラミングの知識も身に付けました。プロジェクトがなかなか進まず、心が折れそうになることもありますが、ツールをリリースできた時の喜びは格別です。

Q 公認会計士のAIとの付き合い方はどうなっていくと考えていますか。

これからの時代、監査業務においても単純な手続は自動化されていくでしょう。一方、会計士の保証業務は残ると考えます。AIは監査データを入力すれば直接的な答えを出してくれる「魔法の杖」ではなく、あくまでも「サポート役」だからです。そのような強力なサポート役を私たちがどう使いこなすかが重要になります。
AIツールを駆使して異常な取引を検知し会社のリスクマネジメントに貢献したり、さまざまな知見を持つ「会社の良き相談役」としてアドバイスを行ったりすることで、クライアントをはじめとするステークホルダーに付加価値を提供する。今後の会計士にはそうした姿勢がより一層求められるようになると思います。

Q「新時代のEY新日本」で活躍できる人はどのような人だと思いますか。

テクノロジーの進化はすさまじく、新しい技術がどんどんと出てくる時代。だからと言って求められる人間像が特別な形に変わるとは思いません。やはり常に学び続けられる人が、新しい時代のEY新日本を背負っていくのではないでしょうか。
いつでもアンテナを張り、新しいニュースや情報にアクセスして、興味があることを学んでください。もしそれがITやAIであったなら、将来一緒に仕事ができたらうれしいです。

CCaSS事業部
M.Yamaguchiさん
シニアマネージャー

“知的好奇心を大事にして、たくさんの人たちと協働する。その先に持続可能な社会の仕組みづくりへの貢献があると実感しています。

サステナビリティ業界をリードする

情報開示規制の整備が進むサステナビリティのアドバイザリーを牽引するYamaguchiさんに、新時代が求める人物像を聞きました。

Q Yamaguchiさんの関与している業務について教えてください。

現在は主にCSRDのアドバイザリー業務に携わっています。CSRDは基準ができたばかりで事例が存在せず、その対応はまさに0から1を生み出す仕事でした。知見のある会計士はまだいない。参考となる過去案件もない。規制当局とは現地語でやり取りしなければならない。そういう状況からのスタート。毎日、クライアントとディスカッションを重ねて「何が本当の課題なのか」「われわれが提供すべきサービスは何か」を見出すのは大変でしたが、その分、何物にも代え難い経験となりました。いま、ようやくCSRD対応の「筋道が見えてきた！」という状況です。今後、より多くのクライアントにサービスを提供できるよう私たちのナレッジのモデル化にも着手しています。

CSRD (Corporate Sustainability Reporting Directive)
2023年1月5日に発効されたEUのサステナビリティ開示規制。年次報告書内における包括的なサステナビリティ情報開示とサステナビリティ報告全体に対する第三者保証が要求されている。
その影響はEU域内にとどまらず、報告対象となる日本企業の数は約800社にのぼるといわれている。

Q CCaSS事業部の特色や魅力は何でしょうか。

CCaSS事業部の取り組む領域は広大で、これからメソッドを確立していくものが山積みです。「挑戦したい！」という思いを持ち続けることで、何が正解かまだ誰も知らない分野の最前線で業務に携わることができます。私も好奇心の赴くままにCSRD対応に没頭し続けて、いつの間にか「CSRD案件はまずこの人に相談してみよう！」という立ち位置まで来ました(笑)。

Q「新時代のEY新日本」で活躍できる人とはどのような人だと思いますか。

「新しい分野に興味を持って挑戦し続けられる人」ではないでしょうか。クライアントのニーズはますます多岐にわたっており、日々いろいろな情報をキャッチアップしていかなければなりません。その上で、積極的に自分の意見を出して解決の糸口を探ることを楽しめる人が、これからのEY新日本をリードしていくのだと思います。
CCaSS事業部の規模は日に日に拡大しています。「私はこの分野で一番詳しい人になりたい！」という熱い気持ちをお持ちの方、ぜひ事業部の成長を楽しみながら私たちと一緒に持続可能な社会の仕組みづくりに貢献しませんか？

「宇宙ビジネスをことごとく空想から現実にしたい」を信念に、会計士の立場からビジネスの基盤を支えています。

FAAS事業部
T.Fushimiさん
シニアマネージャー

宇宙ビジネスのサポーター

急激な成長を続ける宇宙産業。その中で会計士として奮闘するFushimiさんに、業務内容やその魅力について聞きました。

Q Fushimiさんの関与している業務について教えてください。

EY新日本では、公的機関の資産・資金と民間企業のノウハウ・技術をマッチングさせて宇宙ビジネスを支援する官民連携プロジェクト、宇宙ビジネスを行うスタートアップ企業の上場支援、衛星データの分析・活用という3つの方向から宇宙ビジネスを行う人々を支援しています。その中でも私は、主に官民連携プロジェクトに携わっています。具体的にはロケット発射場運営の事業スキームの策定や、JAXAに創設された宇宙戦略基金の制度設計支援、宇宙関連企業のためのビジネスプラットフォームの運営支援などさまざまな業務を行っております。

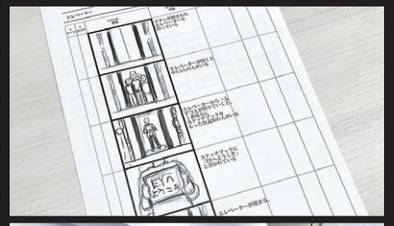
Q 宇宙ビジネス支援の魅力と会計士が果たす役割について教えてください。

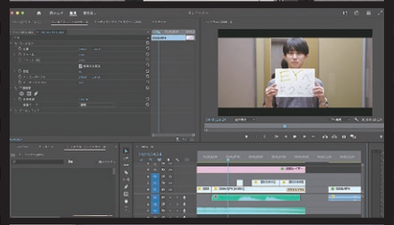
宇宙という非日常的なものが、現実的な経済活動と結びついて利益を生み出すという点に魅力を感じています。また、宇宙ビジネスは近い将来、急成長すると考えられている業界です。そういった局面に携われることも貴重な経験になると考えています。宇宙業界は「ロマン」を大事にする技術者や研究者たちがたくさんいます。しかし、宇宙ビジネスはリスクや不確実性の世界です。そのため、彼らの考えたものを会計や財務の専門知識を生かして現実的なものに落とし込む「ソロバン」的役割を担うことが会計士の役割だと思います。

Q 「新時代のEY新日本」で活躍できる人はどのような人だと思いますか。

「謙虚だが言いなりにならない人」は、これからの社会を生き抜いていけると思います。難しい試験に合格し、与えられた問題が解けても、現実世界の問題が解けるとは限りません。自分の能力と周りが求める水準の距離を慎重に測り、学習のアンテナを張り続ける謙虚さを持ちながらも、上司や先輩の指示が最適解かどうかを常に考えて行動できる人。そのような人が、宇宙ビジネス支援に興味を持ってくれたのであれば、ぜひ私たちと一緒に「宇宙」をやりましょう！

動画撮影現場ルポ
―情報発信の裏側に密着―





EY新日本は情報発信に力を入れており、会計実務を解説する「企業会計ナビ」や出版、セミナーなどさまざまな形で情報を発信しています。そのうちの1つ、動画によるリクルート情報発信の現場に密着しました！

盛夏の日比谷。夕暮れのオフィスに熱気のある会議室があった。ホワイトボードには「EY新日本へようこそ」の文字。リクルーターが集まり、これから撮影する動画の内容を話し合っている。「初めて日比谷の事務所に出勤した時の感動を表現したいな」「期待だったり不安だったりが入り混じった不思議な感覚だったよね」「就活生に歓迎の気持ちを伝えたいな」。リクルーターが手作りの動画をSNSで発信するのは、今年が初めての試みだ。手探りながらも思いは熱い。今回の撮影で現場を指揮する予定のAsanoさんが言った。「エレベーターで撮るというのはどうだろう」

動画のテーマと方向性、撮影場所が決まった。それらを基に絵コンテを一気に書き上げる。次は出演者だ。あらかじめアンケートで募っていた出演者のリストとデスクに並べられた絵コンテを見比べて、イメージに合う人を選ぶ。全てが決まれば、撮影の許可を取り撮影当日を待つだけだ。名古屋からオンライン参加しているメンバーがモニター越しに言った。「撮影日には絶対にそっちに行くよ」

8月初旬、撮影当日。仕事を終えたメンバーがエレベーター前に集まる。出演者と撮影スタッフが和やかに談笑する中、1人じっとカメラのファインダーをのぞき込む人がいた。「カメラを構える高さ、光の加減、ズームのタイミングが大切なので、撮影前の準備が最も重要だと思っています」とDaidojiさん。カメラの調整を終えると、監督のAsanoさんや出演者との打ち合わせに入る。「ここではあえて誰も話さないようにして、初出勤の緊張感を演出しましょう」（Asanoさん）。「カメラは最後にズームで寄ります」（Daidojiさん）。出演者のFukuzawaさんが言う。「目線はどうしようか」。エキストラを務めるメンバーも話し合いに加わり、動き方の細かい設定が決まっていく。いよいよ撮影が始まる。

今回撮影するのは本編が1分に満たないショート動画だ。それでも納得できるまで撮影を続けていると、準備を始めてから数時間が経っていた。撮り終えた動画を確認していたAsanoさんから「OKです!」の声がかかると、場の緊張が解ける。拍手とともに笑い声が響いた。「撮影や編集の仲間を信じて、ありのまま演じました」とFukuzawaさん。「就活生に私たちの気持ちが伝わることを願っています」

ここからは編集スタッフの仕事だ。撮影後、一足先に会議室に戻り、PCに向かって動画編集ソフトを立ち上げる。撮影した映像を取り込み、素材を選定。1つ1つ目を通し選定作業を終えると、編集を始めた。動画を分割し、不要な部分を削除してはつなぎ合わせる。エフェクトを加え、色彩補正を施し、用意していたBGMを組み合わせる。だんだんと動画が形になっていく。

1時間ほどすると、他のメンバーが戻ってきた。「どんな感じだった？」「演技、大丈夫だったかな」。編集作業を行っていたDaidojiさんは、その手を止めると「一度みんなで確認しましょう」と動画を会議室のモニターに映した。「すごくいい！」と誰かが言う。続いて「大成功だね」「やってよかった」と口をそろえた。「完璧に仕上げるよ」と笑顔のDaidojiさん。「この動画は私たちの作品でありメッセージです」。そう言って編集作業に戻った。

EY新日本へようこそ
動画撮影班一同

完成した動画はこちら！

就活スケジュール

実は今年から就活スケジュールが変わっています。今一度、就職活動の流れを確認し、計画的に行動しましょう。実際に面接官を担当したパートナーからのメッセージも必見です。

～10月

就活イベントを終えて一息

10月は接触禁止期間です。法人説明会やテーマ別イベントを踏まえて、やりたいことや志望する事業部などを整理しましょう。

私はこの期間、自己分析をして自分の就職活動の軸を決めていました。残りの時間は、思い切り遊びに費やしていました。

スタッフ
M.Takahashiさん

11月

合格発表・個別相談会

待ちに待った合格発表です。11月は面接前最後の個別相談ができる期間となるので、ここで面接や仕事に対する不安を取り除きましょう。

私はこの期間にいろいろな方とお話しして志望理由を固め、ESを書きました。担当リクルーターの方に添削してもらい安心して面接に挑めました。

スタッフ
Y.Nemaさん

面接当日はとても緊張していたのですが、担当リクルーターの方が面接の前に会ってくださり、緊張が和らぎました！

スタッフ
N.Haraさん

12月

ドキドキの面接

ESの提出や面接の予約は期限厳守です。採用マイページは必ずチェックしましょう。

1月

入社に向けた準備期間

内定おめでとうございます！　この期間は比較的自由に過ごせるので、自己研さんに励むもよし、遊ぶもよし。自分らしく入社に向けて準備をしてください。皆さんと働けることを楽しみにしています。

補習所が始まり、忙しくもありましたが、入社前最後の休みを楽しみました。また、入社前準備として、すき間時間にExcelの勉強をしていました。

スタッフ
K.Obayashiさん

Message　面接官から就活生へ

EY新日本は変化を受け入れ、成長意欲のある人材を求めています。面接では熱意や身だしなみなどをもとに評価します。活発で元気な人はもちろん、控えめな人でもしっかりとした考えを持つ人は好印象です。緊張するとは思いますが、事前に勉強したセクター知識や、自分なりの経験を落ち着いて話してください！

パートナー　K.Maekawaさん

EY新日本で皆さんそれぞれのオーダーメイドなキャリアを見つけてください

受験生の皆さん、EY Summer Conferenceはいかがでしたか？
たくさんの受験生にご参加いただき、法人説明会においてはほぼ全ての回で満員御礼を迎え、大盛況のうちに終了することができました。
EY新日本の魅力を少しでも多く感じ取っていただけていれば、とてもうれしく思います。
皆さんの中には、将来の進みたい分野が明確に見えている方、たくさんの情報をインプットして見え始めてきた方、EY新日本のリクルーターと一緒になって考えている方、さまざまな方がいらっしゃるのではと思います。

EY新日本は自分のやりたいことにチャレンジしたいと声を上げれば、周りのメンバーがその声に応え、幅広い経験をサポートする、皆さんひとりひとりが自分に合ったキャリアを設計できる法人です。
ぜひ、EY新日本に飛び込んで、前向きに、変化をおそれず、さまざまなことに取り組んで、一緒に未来を創りあげていきましょう。
皆さんの合格をお祈りし、面接でお会いできることを楽しみにしています。

スケジュール

◆ステップ1
・面接の予約：11月15日（金）13:00よりマイページから受付を開始いたします。
　予約期間：11月15日（金）13:00～12月2日（月）17:30
　予約方法：
　・既にマイページへエントリー済の方：以下マイページURLよりご予約ください。
　・マイページ未登録の方：以下マイページURL内「初めての方はこちら」よりエントリー後、ご予約ください。
　・マイページ：https://mypage.1170.i-web.jpn.com/EYshinnihon2024/
　　こちらのQRコードを読み取ってください。
　※エントリーシート（履歴書）　未提出の場合でもご予約いただけます。
・エントリーシート（履歴書）の提出：エントリーシート（履歴書）は電子受付となりますので、マイページよりご入力ください。
　提出期間：11月15日（金）13:00～12月2日（月）17:30
・適性テスト受検：11月15日（金）13:00～12月2日（月）17:30
◆ステップ2
・選考（1次・2次面接）：12月5日（木）～12月11日（水）の期間に、面接による選考（2回を予定）を行います。
◆ステップ3
・内定通知：12月12日（木）13:00より　メールおよび電話にて内定通知を行う予定です。
◆ステップ4
・内定承諾期間：12月12日（木）13:00～12月13日（金）12:00

詳細は定期採用サイトよりご確認ください→https://www.shinnihon.or.jp/recruit/

＊はリクルーターです。

Editor's Note

Name	EY新日本の好きなところ
＊ Y.Matsui	職階を問わず、みんな仲が良いところ
S.Asano	オフィスからの眺めが良いところ
H.Azuma	優しい人が多いところ
R.Iino	マネージャーやパートナーとの距離が近いところ
＊ R.Inaba	尊敬する上司・同僚がたくさんいるところ
H.Otsuka	多くの成長機会に恵まれているところ
T.Kitazawa	僕のことを採用してくれたところ
＊ H.Shiraki	面倒見のよい人が多いところ
＊ R.Daidoji	きれいなオフィスと新たな試みに挑戦できる風土
H.Tsuji	景色がきれいなところ
＊ Y.Nakada	個を尊重し、認め合う文化があるところ
＊ K.Hyakkoku	たくさんの同期とつながり、刺激を得られるところ
＊ M.Hirakawa	出る杭を伸ばす文化があるところ
＊ R.Fukui	やりたいことをできる環境があるところ
T.Fukuzawa	風通しの良いところ
Y.Fujii	やる気を出す言葉をかけてくれる人が多いところ
N.Murakami	チーム全員で協力して業務に取り組むところ
S.Yabata	多種多様な人がいるところ

出演者
（50音順）
Special Thanks

＊はリクルーターです。

＊ S.Aoki
K.Arita
K.Obayashi
M.Okumura
M.Kimura
T.Kogure
R.Satake
N.Shinya
A.Suzuki
M.Takahashi
E.Nedate
Y.Nema
＊ N.Hara
＊ T.Fushimi
K.Maekawa
Y.Morita
M.Yamaguchi

Blog

リクルートブログ

若手メンバーが執筆した受験生時代の過ごし方や現在の業務に関する情報などを、定期採用HPにて配信中です。今後は、イベント情報や就活のお役立ち情報、またさまざまな業界で活躍する先輩メンバーの記事なども随時配信予定です。就職活動のお供としてぜひご一読ください！

東京事務所
shinnihon.or.jp/recruit/blog-tokyo/
地区事務所
shinnihon.or.jp/recruit/blog/

HP

採用ホームページ

shinnihon.or.jp/recruit/

SNS

Facebook & X & Instagram

FacebookとXでも採用に関する情報を発信しています。下記のワードで検索してみてください！

@EYCareersJapan

@EY_SN_Career（EY新日本専用アカウント）
@EY_CareersJapan（EY Japan共通アカウント）

@eyjapancareers

LINE

LINE公式アカウント

定期採用LINE公式アカウントでは、EY新日本の魅力に触れていただく動画や就職相談会等の情報を配信していきますので、試験勉強の息抜きにぜひチェックしてみてください。

右のQRコードより
ご登録いただけます。

なお、今後オンライン説明会やその他イベントへの参加を希望される場合は、別途マイページへの登録が必要となりますのでご注意ください。

JOINUS! Vol.2

発　行　日　2024年10月18日
企画・制作　JOINUS! 2024編集委員
発　行　EY新日本有限責任監査法人 経営管理本部 人事部 定期採用チーム
編集・制作　第一資料印刷株式会社

EY新日本有限責任監査法人　©2024 Ernst & Young ShinNihon LLC. All Rights Reserved. ED None